



エルム第41号

発行/特定医療法人
北榆会 札幌北榆病院
編集/広報委員会
責任者/玉置透
発行日/平成22年5月17日

診療科が新設されました

【腎臓内科の新設】

4月より札幌医科大学第二内科から伊藤洋輔医師（平成8年卒）が赴任し腎臓内科の診療を開始しました。専門は腎臓内科ですが、腎臓移植の術前術後管理・移植腎病理、血液浄化法、循環器内科全般にわたっています。

当院の腎臓病に対する総合的な医療の一翼を担うものとして期待しています。

【泌尿器科の開設】

4月より泌尿器科を開設しました。昨年10月から腎臓移植外科に赴任された三浦正義医師が月・木曜日の診療時間内で泌尿器科疾患の予約診療をおこなっています。

全病室の冷房が完備されます

当院の西棟は各病室に冷房の吹き出し口を設けていますが、東棟は廊下までの設置で強い太陽光に冷房能力が追いつかないことがありました。

そこで、今春から全病室に冷房の吹き出し口を設置・配管する工事を施行しています。盛夏の頃には終了し快適に過ごせるようになります。

工事中はご迷惑をおかけしますがご理解をお願い致します。

医療画像電子保存システムが導入されました

今まで検査が行われるとフィルムに焼き付けて保管し、診察の時は袋からフィルムを出していました。

これからは、発生した画像は全てコンピューターで保管管理されます。これにより次のようなことが可能になりいっそうの診断能力の向上に役立ちます。

- ・画像の劣化がなく、永久的に保管できます。
- ・前の画像と比較したいときなど、瞬時に呼び出すことができます。
- ・大量に保存できる画像を元に三次元など見やすい画像に作り直すことが出来ます。

札幌北榆病院基本方針

- 1：患者さんに公正な医療を提供します。
- 2：患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
- 3：患者さんの安全を保障し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
- 4：高度医療を積極的に推し進めます

ご挨拶

本年4月1日から目黒順一副院長が院長に就任致しました。



就任のご挨拶を兼ねて病院の紹介を申し上げます。

当院は、昭和60年1月16日に、一般・消化器外科の推進（特にがんに代表される悪性腫瘍が柱）、腎臓・肝臓などの代謝性臓器を対象にした移植医療の展開、人工腎臓・人工肝臓・人工関節などの人工臓器開発と臨床応用、高度先進医療技術の開発と実践を旗印にした急性期医療施設として開院いたしました。

特徴的なことは、開設当初から人工臓器移植研究所を併設したことです。これはとても大切なことで、医療者が学問的研鑽を積むことが、ひいては患者さんの治療に有用であると云う哲学に基づいています。この精神は現在でも脈々と受け継がれています。

その後、消化器内科、血液内科、小児科等を立ち上げ、特に悪性の血液疾患（白血病や

リンパ腫）に対する治療では、現在日本有数の施設として認められるに至りました。当然ながら、がんを始めとする悪性疾患の集学的治療のために、放射線治療器（リニアック）も早くから導入しております。

また、最近では内視鏡外科手術の導入や、末期がんの患者さんに対する特殊ながん免疫療法も開始しました。

一方、当院の得意分野の一つとして、血液浄化療法があります。これは、血液を一旦体外に導き出して、これに洗浄などの一定の処理を行い、再び体内に戻す方法です。具体的には、腎不全に対する人工透析療法、肝不全に対する人工肝補助療法、リウマチに代表される膠原病や自己免疫疾患に対する各種アフェレシス療法があり、多数の透析患者さんや難病患者さんに対応しております。

この間、日本医療機能評価機構の認定取得によって、医療の質の向上を図り、特定医療法人への改組によって、民間病院でありながらより公的な立場を明確にしてきました。これまでに、数度の増改築と増床を行いましたが、特記すべきは、患者さんのアメニティーを重視し、全室バス・トイレ付きの個室（ICUは除きます）にしたことです。

しかも全室、個室料（差額ベット代）はいまだておらず、おそらくこのような施設は日本国内で唯一と思われます。

これを実現した平成15年には、合わせて全敷地内禁煙も実施しています。更に、平成18年には最もレベルの高い7対1看護基準の届け出を行い、手厚い看護を行っております。

これらの諸施策は、全て当院の基本理念である「患者さんにとって最適な医療を行う」ことを実現するために実行されています。療養の場があまりにも日常生活と懸け離れていては、治療に専念できませんし、個人のプライバシーも守れません。患者さんの安全と安心を保証し、個人の権利を守る環境を整えてこそ、治療の効果が上がると考えています。そのためにも、職員がそれぞれの立場を生かしたチームを形成し、一丸となって患者さんを守る努力をしております。

一方、近年の日本の医療制度は大きく変化しており、今や一つの医療施設で治療を完結

できる仕組みを維持することは困難です。従って、近隣の診療所や機能の異なる病院・施設等と連携し、急性期から亜急性期、そして慢性期を経て治癒に至る、シームレスな医療を展開することが求められています。そのためには、各種の医師会活動への参加、学会、研修会や勉強会の企画・参加などで、医療者同士がお互いに顔の見える関係を構築する努力も欠かせません。

当院では全ての職種が互いに手をたずさえて、患者さんにとって最適な治療環境を提供する努力を、今後とも続けたいと考えております。



〈院長略歴〉

昭和49年：北海道大学医学部医学科 卒業
：北海道大学医学部第一外科学講座にて研究に従事
：北海道大学医学部付属病院
昭和50年：旭川厚生病院
昭和52年：北海道大学医学部付属病院
昭和60年：札幌北楡病院外科部長
平成 8年：札幌北楡病院副院長
平成22年：札幌北楡病院院長

〈専門領域〉

消化器外科、肝臓外科、血液浄化、アフェレシス治療

〈所属学会〉

- ・日本外科学会指導医・専門医
- ・日本人工臓器学会評議員
- ・日本消化器外科学会指導医
- ・日本透析医学会指導医・専門医
- ・日本アフェレシス学会認定専門医・評議員
- ・日本医師会認定産業医
- ・北海道外科学会評議員

病院紹介シリーズ第36回

腎臓移植外科

【これまでの経過】

当院が開設されました1985年以来、これまでに計84例の腎移植術を行っています。1996年には「人工臓器・移植・遺伝子治療研究所」を設立して、移植に関連した研究も積極的に行ってきました。

1998年、道内では最も早く生体腎提供者の負担を軽減する目的で内視鏡を使った腎摘出術を導入しています。

2009年10月には北海道大学腎泌尿器科教室から三浦正義医師を迎えて、「腎臓移植外科」を標榜することになりました。

今後は広く道内からの腎移植希望者の受け入れを拡大する予定です。事実、昨年の10月から今年の3月末までに生体腎移植16例、歯腎移植1例の計17例を行いました。

今年の4月には札幌医科大学第二内科教室から伊藤洋輔医師を迎えて、腎臓移植患者さんの内科的疾患の診断・治療、腎移植前後の医学的管理ばかりでなく移植腎病理の診断などに密接な連携をとることが可能になります。

さらに当院では専門の移植コーディネーター、組織適合性検査やクロスマッチ検査のための臨床検査技師や血液浄化療法の専任スタッフと連携し、民間施設特有の小回りのきく腎移植体制をとっています。病院のすべての病床が無料個室化されており、腎移植後の治療や療養に適しています。

【最近の腎移植】

最近5年間の生体腎生着率は、1年で96%、5年で91%と向上しています。当院の生体腎提供者は内視鏡補助下腎摘出術後5~7日で退院されています。過去に下腹部の手術を受けたことがある方は、術後に痛みが続くこともあります。腎移植患者さんは透析期間が短く膀胱容量が大きくて、急性拒絶反応が発症しなければ2~3週間で退院可能です。最近は夫婦間の腎移植、血液型が異なる方からの腎移植や再移植例が増加しています。また、血液透析などの治療を行う前に移植する先行的腎移植も増加しています。これらの腎移植について簡単に解説します。

【夫婦間の腎移植】

免疫抑制剤が非常に良くなっているので、夫婦間などの非血縁の家族ドナーでも組織適合性検査の結果にかかわらず成績は良好です。夫婦間腎移植は親子間腎移植と較べても遜色のない移植腎生着率が得られています。ただし倫理的な観点から、原則として親族(6親等以内の血族と3親等以内の姻族)以外の非血縁者間での生体腎移植は行われません。もし親族以外の第三者がドナーとなる場合は、提供意思が強制でないこと、金銭の授



受などが行われないことなどを厳正に審査するよう日本移植学会の倫理指針によって定められています。当院では腎移植を希望する総ての方について、弁護士・大学教授・他科の医師などから構成される倫理委員会によって承認を受けるようにしています。

【血液型が異なる場合の腎移植】

輸血が出来ない血液型同士の腎移植を「血液型不適合腎移植」と呼んでいます。従来はこのような方に腎移植を行うと数時間から数日で激しい拒絶反応（これを超急性拒絶反応といいます）が出現して、せっかく移植を行っても直ちに腎臓を取り出すことになります。超急性拒絶反応の原因は、提供者の腎臓にある血液型物質（抗原といいます）に対して攻撃を行う抗体が移植された方の血液中に多く含まれているからです。これを防止するために移植患者さんの脾臓を摘出したり、抗体が出来にくくなる薬剤を使用するとともに血液中の抗体を除去する治療（血漿交換です）を行います。近年、免疫抑制剤が良くなり、血液型不適合腎移植も普通に行われるようになりました。

【先行的腎移植】

従来、先行的腎移植は小児科領域で勧められてきた治療法です。成人においても透析後移植と比較して生着率や生存率が有意に高いことが知られるようになりました。先行的腎移植において患者さんの生存率や移植腎の生着率が良好な理由としては、

- ①拒絶反応が少ないと、
- ②動脈硬化が少ないこと

などが考えられています。これらに加え先行的腎移植の利点としては良好なQOL（内シャントなどアクセス作製、透析療法での時間的制約、水分制限がないこと、食事制限も緩和されること、小児においては発育成長面での優位性）や医療経済面での優位性などがあ

げられます。しかし、透析をしないことで公的医療助成に制限がある方もいます。

【腎移植にかかる医療費】

腎臓提供者の検査入院と手術費用は、移植患者さんの保険で支払われます。そのため提供者の方の負担はほとんどありません。ただし、健康診断を兼ねた検査には通常の病気でかかった場合と同様な負担が必要です。移植患者さんの場合は所得によって医療費の自己負担額は異なりますが、一月当たり2万円以下です。この他に食事代・テレビ代・冷蔵庫代などの保険外費用が請求されます。詳しくは担当の移植コーディネーターにお問い合わせください。

【腎移植のお問い合わせ】

生体献腎移植に関わらず移植希望者は、医療連携室の移植コーディネーター

山崎奈美恵・春木礼果
までお電話ください。（代）011-865-0111

【腎臓移植外科の外来診療】

受付時間：午前9時00分～11時30分

午後13時30分～16時

月＝玉置（AM） 三浦（AM・PM）

水＝土橋（PM）

木＝玉置（AM） 三浦（AM・PM）

尚、6月から変更される予定ですので、またご案内いたします。詳細は北総病院のホームページも参考にしてください。

外科部長 玉置 透

【腎臓移植外科スタッフの紹介】

【三浦正義医師の経歴】

平成6年：北海道大学医学部付属病院 泌尿器科
 平成11年：米国留学（Cleaveland Clinic）
 半成15年：市立札幌病院 腎移植科副医長
 平成20年：北海道大学病院 泌尿器科助教
 平成21年：当院腎臓移植外科医長（10月～）

日本泌尿器学会指導医、日本臨床腎移植学会認定医、
 日本Endourology・ESW学会泌尿器腹腔鏡技術認定制度認定医、
 日本がん治療認定医機構認定医など



【腎移植コーディネーター】

4月から新任の腎移植コーディネーター、春木礼果看護師が医療連携室に加わりました。

役割は生体腎・献腎移植にかかわらず移植を希望される方のさまざまな相談から医療費控除の問題まで幅広く対応します。また、移植後の患者さんの健康相談にも親身に応じています。お気軽にご相談ください。



～自己紹介～

4月から腎移植の移植コーディネーターとして勤務することになりました春木礼果です。

看護師だった私がコーディネーターを目指すきっかけとなったのは、同級生のお母さんとの再会でした。私が以前に勤務していた病院に同級生のお母さんが入院してきました。腎臓の病気で透析を受けとても辛そうでした。しかし献腎移植を受けた後元気を取り戻し、見違えるような毎日を送っている姿を見て「腎移植ってすごい」と感激しました。

その気持ちちは「腎移植についてもっと勉強したい」と考えるようになり、さらには少しでも腎移植をする患者さんや提供する方のお手伝いが出来ればという思いに変わり、いつしかコーディネーターを目指すようになったのです。

夢が叶った今は、コーディネーターとして患者さんが自ら自分にあった腎不全の治療方法を選択できるように、また、腎移植をすると決めた患者さんと提供者の方には、移植術の前後、不安無く過ごせるようにサポートしていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

【腎臓内科が開設されました】

日本の慢性腎臓病患者は400万人以上といわれておりますが、その内訳は、ごく早期のタンパク尿・血尿のみの方から、末期腎不全として透析・移植を受ける方まで幅広くなっています。

当科はその全てに対応できる腎臓内科を目指して平成22年4月に開設いたしました。

【当科の特色】

腎移植においては、これまで拒絶反応に対する治療がメインでしたが、治療成績が向上し長期生着が可能になってきたこともあります。元々の腎炎の再発や、生活習慣病による腎機能障害が注目されるようになってきております。このため腎移植患者さんを腎移植外科のみならず、当科にても診させていただくことでより良い治療の提供を目指しております。



もちろん透析や移植に至らないように腎臓病を早期に診断し治療することにも力を入れております。健康診断でタンパク尿・血尿を指摘された患者さんは全く自覚症状が無い方がほとんどです。腎臓病はよほど進行しなければ自覚症状は出現しませんので、何でもないからとほうっておくと、気づいたころには既に透析間近という方が少なくありません。早期に治療を行えば治癒可能なものが大多数ですので、タンパク尿・血尿を指摘された方はできるだけ早くご相談下さい。

【腎臓内科担当医師】

伊藤洋輔医師の経歴

平成 8年：札幌医科大学医学部附属病院 第二内科

平成13年：新潟大学医学部附属病院 第二内科

平成20年：札幌医科大学 第二内科助教

平成22年：当院腎臓内科医長

日本内科学会認定医、日本透析医学会専門医、臨床研修指導医

【腎臓内科の外来診療】

受付時間：午前9時00分～11時30分

午後13時30分～16時

月＝午前も午後も診療しています。

水＝午後

木＝午後

金＝午前

詳細は北総病院のホームページも参考にしてください。





スタートに寄せて

第5病棟 柴田 理紗子

私の祖父が入院したとき、患者さんにだけではなく家族にも優しくて笑顔の素敵な看護師の姿に憧れたのがきっかけでした。

学生のときには様々な患者さんとご家族の方に出会い、その中でも看護師という職種はつらい闘病生活の中にいる患者さんとご家族を一番そばで支えることができる仕事なのだと感じました。

私自身も両親を在学中に亡くした時、患者さんに接することで逆に支えられ力を頂きました。その時私は「誰かがそばにいてくれる。一人ではない。」という安心感はとても大きいものなのだとということを支えられている側として感じました。

患者さんは笑顔であっても心には病気に対する不安や心細さというものを抱えていると思います。まだ知識や技術力も少ない私ですが、笑顔を忘れず日々勉強しそんな不安を抱える患者さんの心に寄り添い、ともに闘っていける看護師に成長していきたいと思っています。



第6病棟 宇部 静加

私が看護師になろうと思ったのは中学生の頃に祖母ががんで亡くなり、その際に悔しい思いをしたからです。入院していた祖母から一度目をそむけてしまった後悔や祖母に何もできなくて悔しかった気持ちは今でもはっきりと思い出します。だから、私は患者さんやその家族がどのような状況でもしっかりと正面

から向き合いたいです。誠実で素直でありたいと思うし、患者さんや家族の気持ちをきちんと聞いて、どんなにつらくても受け止めて患者さんやその家族のための良い関わりができる看護師。笑顔で人と接することができ、患者さんやその家族に寄り添い、安全・安楽がしっかりとと考えられた患者さん第一のケアを行うことができる看護師になりたいと思います。

第7病棟 松久 ともみ

私にきっかけをくれたのは母でした。私を産む前に針刺し事故で看護師をやめっていました。その話を聞き、私は母と同じ職に就き、もう一度母の働く姿、ナース姿を見たいと思い、看護5年一貫校に入学しました。少しでも早く夢をかなえる為頑張りました。私は岡山出身で、北海道の病院に就職したいとすぐに家族に言えませんでした。しかし、家族に言うと背中を押してくれ、晴れてこの病院の看護師になることができました。この病院で私は、血液の病気の患者さんと正面から向き合い、患者さんには少しでも明るく元気になっていただけるよう、常に笑顔で患者さんに元気を分けてあげられるような看護師になりたいと思っています。まだまだ未熟で方言も抜けず、北海道の方言もわからない事があるかも知れませんが、気軽に声をかけてくださるとうれしいです。



♪♪ミニコンサートが開かれました♪♪

2月17日（水）、当院の患者さんでもあり、現在、国内外で活躍中のピアニスト鳥居大祐さんをお迎えして、ピアノコンサートを開催しました。

たくさんの方々にお集まりいただき、準備した椅子が足りなくなるほどでした。真冬の開催でしたが、ショパンを中心とした素敵な演奏と鳥居さんの心のこもったトークに、会場全体が温かい空気につつまれました。

♪来場してくださった患者さんより♪

「ピアノの知識はない私ですが、とっても感動しました。鳥居さん、ありがとうございました！」
 「また聞きたいです。入院中にこんな素敵なことがあるなんて嬉しかったです。リフレッシュできました。ありがとう。」
 「ご病気を克服してのご活躍、勇気を頂きました。」



演奏者プロフィール

- ・1983年3月23日東京都にて生まれる
- ・4歳より13歳までヤマハ音楽教室にて工藤真樹子氏に師事
- ・14歳より札幌コンセルヴァトワールにてピアノを宮澤功行氏に師事
- ・15歳よりオーストリア、ウィーンに渡り同年秋にウィーン市立音楽院に入学
- ・これまでユリカ・ベーハー、フランツ・ツェッテル各氏に師事
- ・日本ではAOCC海外派遣コンクール優秀賞
- ・その他PTNAピアノコンペティション全国大会入賞
- ・オーストリア国内では数々のコンサートに出演し2006年にユリカ・チャーリーのマスタークラスに参加し、ヴェーゼンドルファーにてフォーデー賞を受賞
- ・2008年イタリアのパドーヴァ国際コンクールにて第4位に入賞

外来診察担当一覧

(平成22年5月1日現在)

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科 血液内科	木山 小笠原 今井 太田 皆内	小林(直) 金谷	平野 今野 松川 今野	中田 嶋	小林(直) 小笠原 中田 金谷	今井 桂	小林(直) 太田 中田 嶋	平野 松川	木山 野川 今桂	皆内 野山 井桂	(白鳥) (若狭) 交代医師
消化器内科	工藤 安孫子	川村	高野	工藤 安孫子	工藤 長佐古	川村	工藤	山本 ※工藤	川村	高野	
免疫療法 (完全予約制)		今井		小笠原		太田		小笠原 今井		小笠原	
糖尿病代謝内科					澤村		澤村		澤村		
腎臓内科	伊藤					伊藤		伊藤	伊藤		
循環器内科			山崎		横山		儀間				
外科	玉坂 坂田	日黒	米川 古井/飯田 (隔週交代)	久木田	日黒 堀江	水戸 土橋	玉置 小野寺	坂田	久木田 堀江	玉置	水戸 交代医師
腎臓移植外科 泌尿器科	三浦						三浦				
整形外科	東 高橋	東		高橋		東		高橋			
小児科	安田 小林(邦)	小林(良) 小林(邦)	小林(朋) 鈴木	安田 小林(邦)		※小林(良) (血液外来)		安田 ※小林(良)	安田	安田 交代医師	
スリーブ外来	—	中尾	—	—	中尾	—	—	—	—	—	
ペインクリニック (完全予約制)	—	—	沼澤	—	—	—	—	—	—	—	
歯科	福島	福島	福島	—	福島	福島	福島	福島	福島	福島	

※小児科：木曜日は血液外来・金曜日は長期フォローアップ外来、セカンドオピニオン外来のため完全予約制です。

※消化器内科：木曜日午後、工藤医師は15:00~16:00 ピロリ菌専門外来（予約制）です。

※医師の都合により変更となる場合がございますので予めご了承ください。

**〈外来予約 電話受付〉 平日のみ 午前 9時00分～12時00分
午後 13時30分～16時00分**

外来予約・変更専用電話 TEL 011-865-0201

- 予約の際に受診科、氏名、生年月日をお知らせください。
- 日曜日、祝日は診療をしていません。
- 土曜日は予約診療を行っていません。
- 予約がなくても診察を受けることができます。
- 診療の際に、前後の患者さんの状態で、多少時刻が変わることがあります。

休憩室

北海道の田舎から出てきて受験旅行に出ていた。その朝、大学の受験表と筆記用具それだけを確認するとあとは部屋にある全てのものをバックに詰め込みあわてて宿を飛び出した。もう浪人生活も2年目となり後が無かった。こんなときにとって寝坊してしまったのだ。幸いなんとか試験開始時刻には間に合った。不思議と頭の回転が良い。昼、他の受験生はお弁当やパンを持ってきていた。大学は東京の郊外にあり、まだ近くにコンビニストアは無かった。仕方なく大学の正門前にある出来たばかりの食堂に駆け込んだ。数人の受験生もやってきた。ほかの受験生がみな「焼き飯」を頼んだ。試験場に早く戻りたくて「早く出来そうなもの」という思いから「私も同じものをお願いします」と言った。参考書をふさぐように焼き飯が現れた。それでも本を見ながら口へ運ぶ。手が止まった「旨い！」

幸いにその年は受験した大学全てに合格し、結局札幌にある第一志望に通うことになった。「炊生活をしているうちに料理や食べることの楽しみを知った。でもどう工夫してもあの焼き飯の味は再現できなかった。

卒業し、出張が多い仕事に就いた。時には海外まで赴く。行った先、土地土地のおいしいものを食べる。興味は趣味になり材料や作り方をメモし、食べることが私の趣味になった。

職場でも食通でとおり、何かの時には私に意見を求めてくる。実はそれはとても嬉しいことで、悟られないようにさりげなく知識を披露していた。

病気になった。病院の食事にも興味をもった。昔抱いていた「空腹を満たすだけという」イメージと違って体調が良いときは食事時間が楽しみなくらいおいしく作ってある。

しかしながらかが物足りない。やはり私の舌がそ

れ相応のものを要求しているようだ。

そのうち、病室でのふとした時間に昔食べたあの焼き飯の味が思い出された。

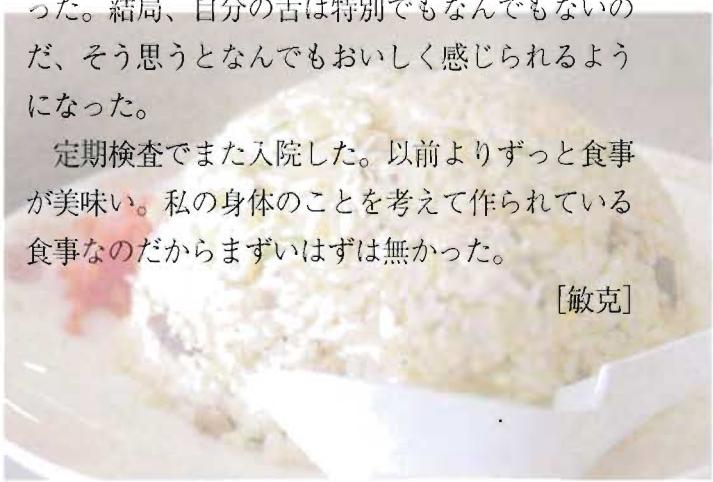
「そうだ退院したらあの焼き飯を食べに行こう」そんなどうでも良いことが私にとって病気を治す力になっていた。

一時退院の許可が出た。すぐに旅立った。飛行機と電車を乗り継ぎあの大学に行く。正門前には昔の面影は全く無い、数件のビルに開まれるようになつた。あの食堂があった。スポーツ部の学生と思しき人がにぎやかに食事をしていた。当時厨房にいた人は30歳前後に見えたが、還暦を過ぎたような親父さんが中華なべを振り回していた。聞けばずっと夫婦できりもりしているとの事だった。早速焼き飯を頼む。作り方をしっかり見た。豚肉とねぎを細かく刻む。中華なべに油を入れる。肉を入れる。卵を落とす。ご飯を入れる。炎が立ち上がる。ここまで他の店と大きな変わりは無い。そこに少しだし汁と安い酒を入れる。炎は湯気に入れ替わった。と、そこに化学調味料をこれでもかというくらい沢山入れた。その後ただひたすら強火でいためる。ただそれだけだった。「そんなはずはない」何か作り方がかわったのか？紅しょうがが少しだけ乗った焼き飯が目の前にある。がっかりして口に運んだ瞬間、当時のあの芳醇な味が口いっぱいに広がった。

そのまま札幌に帰り、自宅で覚えたレシピのとおり早速作って見る。まったく同じ味が再現された。私の求めていた究極の料理は化学調味料の味だったのか…。それ以来私は食通を自慢しなくなった。結局、自分の舌は特別でもなんでもないのだ、そう思うとなんでもおいしく感じられるようになった。

定期検査でまた入院した。以前よりずっと食事が美味しい。私の身体のことを考えて作られている食事なのだからまずいはずは無かった。

[敏克]



お答えします
お答えします
お答えします
お答えします



お見舞いのたびに駐車料金がかかるのは負担です。
無料にはなりませんか？



駐車場の維持管理のための実費分として、また不法駐車によって患者さんが停められないというような事を防ぐためにも、お見舞いで来院された場合は駐車料金をいただいております。何卒ご理解の程お願いいたします。

当院では診療情報の開示、提供を行っています。ご希望の方、開示の方法など職員までお尋ね下さい。



外来通院しています。西棟にある食堂は、外来患者も利用できるのでしょうか？



西棟1階の食堂は、入って奥が職員食堂、手前が患者さん用のスペースとなっております。基本的には入院患者さんのお食事用ですが、外来患者さんやお見舞いでご来院の方も休憩場所としてご利用いただけます。入院患者さんのお食事中は、特にお静かに願いたいと思います。

食堂では、飲み物の自動販売機と給茶機はございますが、食品の販売はしておりませんので、向かいの売店などで購入した食品を持ち込んで召し上がっていただくことになります。ご了承下さい。

○売店営業時間

平日 9:00~17:00

土曜・日曜 9:00~12:30

祝祭日 休み

○毎月最終日は棚おろしのため12:30までの営業となります。



編集後記：

年が明けてすぐゴールデンウイークに桜を見に行く計画をしました。

春が足踏みをした今年は、どこに行けばちょうど満開なのかわかりませんでした。

毎年、松前あたりが良いようなのですが…今年は弘前あたりでしょうか……？

でも、結局どこにも行かないで家でお団子を食べていました。エルムに対するご意見ご希望をお聞かせください。エルムは季節毎年4回の発行です。

松浦

特定医療法人北楡会 札幌北楡病院

診療科目：外科・腎臓移植外科・内科・血液内科・消化器内科・腎臓内科・循環器内科・泌尿器科・小児科・整形外科・麻酔科・放射線科・歯科

住 所：札幌市白石区東札幌6条6丁目5番1号
TEL:011(865)0111・FAX:011(865)9634

交 通：地下鉄白石駅5番出口から環状通り
北の方へ徒歩5分左手

ホームページ：

パソコン	http://www.hokuyu-aoth.org
NTTドコモ	http://www.hokuyu-aoth.org/i
a u	http://www.hokuyu-aoth.org/ez
ソフトバンク	http://www.hokuyu-aoth.org/v